

み

ん

し

ゃ

い

26年度号外

おとがな

乙金区発行

～ これからの区の行事 ～

◆4月19日（日） 27年度 乙金区定期総会

◆5月中旬 春の一斉清掃

◆6月中旬 春の花いっぱい運動

おとがな

乙金の地名の由来 (連載最終回)

その昔、^{おとがな}乙金の地には『盆綱引き』という行事がありました。当時の青年団が山に行き“カズラ”を取り、柔らかくするために川につけて数本をねじり綱を作り上げ、現在のコミュニティバス通りの市道で道路の上下に別れ、8月15日夕方行われたそうです。

由来は、先祖の霊が13日の夕方にお戻りになり、15日夕方にはお浄土にお帰りになります時に「まだ帰らんでもよかろうが～お浄土に帰らないかん～」といった具合で引いたり引かれたりとした事です。

^{おとがな}乙金村の水田は、^{かんぼつ}旱魃等で苦しんでいた為、昭和9年に此の岡池（総合体育館左側）が造成され、水田五十町歩が潤っていましたが、昭和48年の豪雨による堤防の決壊により下流に大きな被害が出ました。余水吐（よすいばき）も大きくなり修復され、現在は大丈夫かと思えます。

大野東小学校が昭和45年に建設されましたが、造成土はその隣にありました大行事山です。現在長谷部酒店・新形さんがお住まい一帯の住宅地は、小高い丘の様な大行事山を切り崩し造成されました。その山頂には、大行事及び厄神様の石碑2体をお祭りしていましたが、薬師の森（大野東幼稚園よりバス通り手前右側九電施設所。大きな楠の木や椿の木の森がありました）へ移動しましたが、昭和55年道路拡張によって再度神社へ移動しました。

^{おとがなひがし}乙金東区と^{おとがなだい}大池区、^{おとがな}乙金台区の一部が平成元年に分区致しましたが、現在^{おとがな}乙金区では1100世帯になろうとしています。現在大野城市では、最後ではないかと言われて区画整理事業が施工されていますが、完成しますと、200～300戸増加するのでしょうか。市と共に^{おとがな}乙金も想像以上に発展したなと思えます。